

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
会長 栗田 裕子
編集：広報委員会
監修：ひたちなか市環境保全課
TEL：029-273-0111 (内3312)

環境から版

環境イベント

- ・・・予告・募集・・・
- ◇環境保全啓発ポスターコンクール・応募者募集
テーマ：環境に関する3部門
- ①自然環境保全部門
- ②まちをきれいにする部門
- ③地球温暖化防止部門
- 応募対象：小・中学生
応募締切：9月15日(火)
問合せ：環境保全課
- ◇段ボール箱を用いた、生ごみ堆肥作り講習会
8月27日(木)
9：30～11：30
場所：生涯学習センター
対象：市民20組程度(親子で参加も歓迎)
持参品：段ボール箱(10kgのみかん箱程度)/移植ごて
詳細は、良くする会のブログ・イベントの項目参照
申込み先：環境保全課
- ◇森林保全活動
- 第1回 10月17日(土)
- 第2回 11月21日(土)
- 第3回 12月19日(土)
- 作業時間 9:30～12:00
場所 市内美田多町地区
参加希望者または詳しい問合せは磯前 博巳へ
(TEL:029-264-1084)
- ◇環境四季時計「秋祭り」
みんなの消費生活展参加
テーマ『生ごみは 燃やさず堆肥化、エコライフ!』
開催日 10月31日(土)～11月1日(日)

～ 生ごみ堆肥化モデル事業の歩み ～

平成23年度“生ごみから堆肥が出来ることを実証”

6月 学校給食残渣4日分使用、剪定枝チップと鶏糞配合、堆肥造りの場所は旧那珂湊清掃センター裏手倉庫を市から借用。6か月後、堆肥935kg完成。



堆肥の切り返し

平成25年度“生ごみ収集の範囲・期間の拡大”

6月から3か月間100世帯(東中根団地自治会と柳が丘自治会各50世帯)の方に週2回生ごみ提供依頼。6か月後、堆肥約3.6トン完成。3軒の農家に堆肥の効果試験依頼。



堆肥製造現場の見学会

3年間に生ごみを提供下さった延べ185世帯の方、堆肥の効果試験を実施頂いた延べ11軒の農家の方、堆肥施用作物の食味試験に参加の方、ご協力有難うございました。このデータを基に次の段階に歩を進めて行きたいと思っています。



生ごみの出し方説明会

平成24年度“家庭から生ごみ収集と堆肥化を実証”

6月1か月間30世帯(柳が丘自治会)の方に生ごみ提供依頼。週2回水切りバケツに分別した生ごみを資源回収場所に設置した大型バケツに収集。給食残渣を追加。鶏糞、もみ殻、おが屑を配合して6か月後、堆肥745kg完成。3軒の農家に堆肥の効果試験依頼。

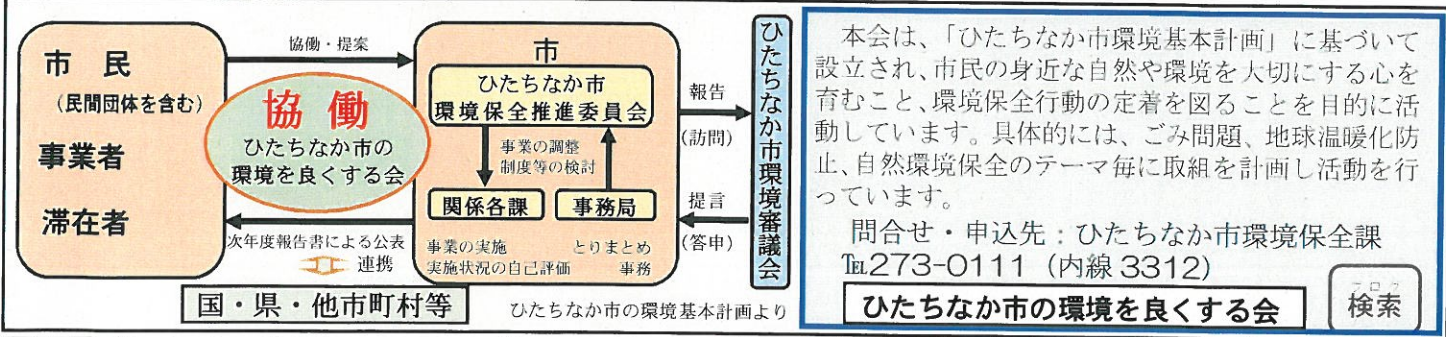
平成26年度“堆肥の生産規模の拡大と機械化”

6月から2か月間55世帯(津田東自治会)の方に週2回生ごみ提供依頼。農家での堆肥の効果試験を増やすため給食残渣を使用し、機械化を図る。6か月後、堆肥約5.2トン完成。5軒の農家に効果試験依頼。12月、干し芋加工残渣堆肥化実証試験開始。

平成27年度“7月干し芋加工残渣堆肥完成”

4年間にわたり実施した、生ごみ堆肥化モデル事業の実施報告書と提言書を市に提出予定。

生ごみ堆肥化モデル事業 4年間の成果まとまる
環境を良くする会では、燃やせるごみの減量手段として、生ごみを堆肥にして利用する、循環型まち作りをめざして、平成23年から実証試験を行い、モデル事業へと発展を遂げてまいりました。その歩みと解説(2面)について記述いたします。



解説 生ごみ堆肥化モデル事業の意義と期待

「循環型社会」への一歩に

生ごみを燃やさず、生ごみ堆肥として土に返すことが大変良いことだと考えるようになりました。しかし、自分の家で実行すると大変のようです。そこで、ご家庭を対象として、行政の支援を頂いて、生ごみ堆肥化モデル事業を4年間続けて参りました。その間、ご協力頂いた市民、農家の方から温かい励ましと期待の声が寄せられました。

市内から出る生ごみを堆肥化し、それを農家の方が利用するという流れを作るために必要な基礎的なテ

タを、皆様のご協力により、揃えることが出来ました。毎年まとめて市に提出する事業報告書は今年度で第4報となります。これを4年間の活動の集大成として、提言書とともに提出します。

この成果を基に、『生ごみ堆肥化モデル事業』の輪を広げましょう！

干し芋加工残渣の堆肥化にも大きな期待

当市は全国有数の干し芋生産地です。この加工の際に出る屑(加工残渣)の量は膨大な量になります。

加工残渣の一部は飼料として利用されています。けれども多くは捨てられているのが実情です。野外に放置されますと、腐って悪臭を発生して周辺環境に悪影響を及ぼしてしまします。そこで、干し芋加工残渣の堆肥化をJAと共同試験することにしました。昨年暮れに1トンの加工残渣を堆肥として仕込みました。毎月堆肥を人力で切返し、6か月間をかけて、干し芋加工残渣堆肥が完成しました。

『干し芋のひたちなか市』の名を生かせるように、干し芋加工残渣の堆肥化を進めましょう。



妖怪探しの様子

子どもたちの環境祭り 環境四季時計 春祭り開催

3月28日(土) 10時から名平公園で春祭りを開催しました。

テーマは「冬から春への自然と妖怪」。参加者は105名(子ども41名)。開催内容は、堀川保育園による太鼓演奏、妖怪体操、自然観察、竹細工のおもちゃ遊びを行いました。

力強い太鼓の音が、春の陽ざしあふれる公園に響き渡り、真剣で素晴らしい演奏に拍手が沸きました。

妖怪体操で運動をした後、子ども

もたちは、7つの妖怪が隠れている公園内の木を探しにかけ、それぞれの木の名前を解答用紙に書いてゴール。

野鳥に詳しい会員が、池周辺の野鳥について説明し、子どもたちは、双眼鏡で熱心に観察しました。

会員手製の竹ぼっくり、篠竹鉄砲、回転装置付き竹トンボに挑戦する子どもたちも多く、中でも空高く飛ぶ竹トンボに大きな歓声が上がりました。



一条乱れぬ太鼓演奏

わがまちの環境活動 津田東自治会を訪ねる

環境を良くする会の堆肥化実証試験に参加して下さった、津田東自治会の役員の方から次のような話を伺いました。

環境改善指導員という10年以上継続して活動をしている特徴的な役割があり、各組から1名、任期1年で選出され市廃棄物対策課の出前講座を受け、分別法や注意事項等習得した知識をもって、再資源回収時当番を兼ねて指導に当たります。毎年新しい人が指導員になるので、指導できる人がどんどん増え全体のレベルアップを果たしています。

指導員を主な参加者として視察研修を毎年行っており、今年は栃木県にあるペットボトルのリサイクル工場を視察し、画期的な進歩として、ペットボトルから飲料用のペットボトルが出来ることを知りました。道路の植樹の植栽、ゴミゼロ運動、不法投棄の見廻り等、継続的な活動をしています。



ペットボトルのリサイクル工場にて

再生可能エネルギーの利用・普及促進を目指して

5月30日(土)午後1時30分から生涯学習センターにて、第6回本年度第1回環境ティスカッションを開催しました。前回の環境ティスカッションにおいて提案された3つのテーマについて、グループ毎に討議が行われ、その後、各テーマの進捗状況や今後の検討課題などの発表がありました。最後に、再生可能エネルギーの利用についての全体討議を行いました。

①「森林保全間伐材の有効活用」 美田多町の森林保全活動で得られた間伐材をバイオマス発電の燃料に有効活用できないか検討しました。市内にある間伐材の量の調査やバイオマス発電事業会社への協力依頼、交渉などを含めて長期的な取り組みが必要との発表がありました。

②「携行型太陽光発電機の普及」 会で所有する小型のソーラーパネルで発電した電力を蓄電池に充電し、その電力で、各種家電製品が使用できるものか評価しました。消費電力が150ワット以下の電気製品であれば使用することができるとがわかりました。商用電源が無い場所や屋外イベントの電源、災害時等に於ける非常用電源として有効活用できる旨の発表がありました。

③「市民として出来ることを見つけよう」 再生可能エネルギーの利用を市民へ普及する啓蒙・啓発活動のひとつとして、ミニチュア風力発電の発表がありました。

平成27年度総会開催

4月25日(土)ワークプラザ勝田において、本間市長をお招きし、27年度総会を開催しました。

本年度は、干し芋加工残渣堆肥試験、生ごみ段ボールコンポストの普

電機の手作りキットを利用して、発電の仕組み、発電方法等のマニュアルや資料を作成し、講座を開いていきたいとの発表がありました。

1人から100人の大きな効果

全体の討議では、従来から行われている省エネ・節電のみならず「創エネ」等への取り組みも重要との話もあり、また、再生可能エネルギーの利用・普及は、1人の頑張り、努力も大切ですが、100人の頑張り、努力による波及効果に期待をして閉会しました。

及、再生可能エネルギーの啓発活動、出前講座を始め、環境四季時計の祭り、環境講座、森林保全活動などの活動に取り組んで行きます。

1面掲載の環境イベントなど、本会の活動にご参加いただければ幸いです。

段ボール箱を用いた生ごみ堆肥化講習会開催

6月25日、旧那珂湊清掃センター裏手倉庫で本会員を対象に、段ボール箱を利用した生ごみコンポスト作り講習会を開催しました。各家庭で生ごみを堆肥化し、家庭菜園等の肥料として活用すると共に、燃えるごみの減量にもつながり環境負荷を小さくする事ができます。

今月、市民を対象に親子で参加できる生ごみ段ボールコンポスト講習会を開催します。(1面)



右は箱作り。左は基
材配合と生ごみ投入の様子。



全体討議の様子

②「携行型太陽光発電機の普及」 会で所有する小型のソーラーパネルで発電した電力を蓄電池に充電し、その電力で、各種家電製品が使用できるものか評価しました。消費電力が150ワット以下の電気製品であれば使用することができるとがわかりました。商用電源が無い場所や屋外イベントの電源、災害時等に於ける非常用電源として

夏本番「省エネ・節電」にご協力ください。

7月10日(金)朝7時15分から勝田駅・東西自由通路、東口、西口の周辺で、本会員と市の職員による夏の温暖化防止キャンペーンを行いました。



キャンペーンの様子

今年は、地球温暖化防止のため「省エネ・節電」を呼びかけるチラシとともに、昨年の環境保全啓発ポスターコンクールの温暖化防止部門で、最優秀作品に選ばれた「ポスターの絵柄が入ったティッシュ」などを、啓発用グッズとして駅で乗り降りする多くの人に配りました。



東西自由通路周辺の様子

諸事情により、「かわらちゃん」はお休みとさせていただきます。

環境四季時計

「夏祭り」開催

7月20日(月・祝日)の午後4時から、東石川第2公園で「電気を消してスローな夜を!」と「キャンドルナイトで省エネや安心な暮らしについて考える」をテーマに環境四季時計・夏祭りを開催しました。



小学生による力強い太鼓演奏でスタートし、食用油(廃油)を利用して作ったキャンドルを灯し、穏やかな明かりの下で、ヒップホップダンス、弾き語り演奏、トランペ

ット演奏による懐かしい曲もあり、大いに盛り上がりました。子どもたちは、ペットボトルの中のおもちゃの金魚が、念力?により上下するマジック浮沈子作りを楽しみました。環境劇では、身近な環境問題に関する内容が取り上げられ、ウィットに富んだ語りで、会場では大きな拍手が起りました。



東石川陣太鼓

キャンドルナイトに合わせて、147店舗と会員事業所にライトダウンの呼びかけを行い、ご協力を頂きました。

編集者だより

4世代同居の私の母親は「もったいない!」が口癖。ひ孫が捨てた折り紙失敗作を広げ、シワを伸ばして新聞回収紙袋に入れた。入れながら「変ったねえ〜」とポツンと言った。

何が?と聞くと、70年前の終戦の話に始まり、当時の慎ましい日常では紙1枚さえも捨てない事が当たり前だったし、冷蔵庫も無かったから生鮮食材はその日の分だけ買ってその日に食べきっていた。

減農薬・無農薬・有機栽培、そんな言葉も無用の食材で季節を感じながら一家揃って食卓を囲んでいたと言ひ、同意を求められ私は頷いた。夏は暑く冬は寒い!そんな日本の四季を孫やひ孫に手渡したいものだ。(若林)

「食品包装材に思うこと」

ひたちなか市高野原自治会副会長 染谷 満也

地区の月2回の資源回収作業に関わって9年になるが、瓶の「蓋とラベル」については思うことが多い。

まず、ピンの蓋・・・

使い終わった瓶を処分するとき、古くから再利用してきた酒びんやビールびんはさすがに、蓋の取り外しが簡単で、その瓶を洗うのも手間がかからない。

しかし、他のものはそうはいかない。慣れれば、手で外せる蓋もあるが、ペンチを駆使しても外せない蓋もある。

分別して再資源化を目指すなら、取り外すことも考慮に入れて蓋のデザインをして欲しい。蓋が外された瓶は洗いやすく、家庭での保管時も資源回収作業時も悪臭に悩まされないですむ。

もう一つは、プラスチックラベル・・・

ラベルは、接着剤で貼り付けたものではなく、ミシン目を使ってすぐ剥がせるものにして欲しい。剥がすのが面倒なラベルに出会うと、生産者が「プラ」と表記して、「リサイクルに協力している」姿勢を見せているだけのように見える。リサイクルされずに無駄になるだろう。

おわりに、瓶に限らず、分別を目的にして「プラ」や「アルミ」と表記されている物たちが無駄なく再資源化のルートに乗ることを願う、市で目指す「資源循環型のまちづくり」のためにも。

ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所 www.industry.ricoh.co.jp</p>	<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.maki-planning.com/ プロが選ぶカラーコンクリートの専門店 Mam's garden http://www.mamsgarden.com/</p>	<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ! のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 株式会社 水戸事業所</p>	<p>廃棄物の中間処理施設 株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL(029)270-3711 http://www.eko-katsuta.com/</p>	<p>KOMATSU コマツ 東海工場 〒311-0001 茨城県ひたちなか市新光町1-1-1 TEL(029)265-5371</p>	<p>ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町103-2 TEL(029)265-5371</p>
<p>セイメイヤ ひたちなか馬渡店</p>	<p>廃棄物からエネルギーへ Bio Power 木質バイオマス発電所(株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野1974-1 TEL029-270-3341</p>	<p>Shinary 100% 脱石油 化粧品・日用品・アロマまで、石油系化学物質を使わない、人と環境を守る製品です。シナリー優季(株) TEL029-271-0766</p>	<p>Hitachi Koki 日立電動工具</p>	<p>QRコード</p>	<p>詳しくは環境を良くする会ブログをご覧ください。</p>